

1. 授業の概要(ねらい)

この授業においては、イギリスの児童文学の中から、ルイス・キャロルの『不思議の国のアリス』と『鏡の国のアリス』、C.S. ルイスの『ナルニア国物語』、P. L.トラヴァースの『風についてきたメアリー・ポピンズ』、J. K.ローリングの『ハリー・ポッターと賢者の石』を取り上げ、その内容と英語表現を分析する。これらの作品において、主人公たちは現実世界からファンタジーの世界へと移動し、そこで様々な冒険を行う。現実世界とファンタジーの世界との間を行き来するための「扉」の機能を果たしているものは、アリスにとってはウサギの穴、ハリー・ポッターにとってはキングス・クロス駅のプラットフォームの壁である。このような「扉」とは何なのか。また、現実世界とファンタジー世界との関係性とはどのようなものなのか。原作とその映画化とを比較しながら、考察する。授業は基本的に英語で行う。学生の理解度を確認するために、毎回の授業後半で、説明した内容に関して英語で質疑応答する、英語でコメントを書く、英語でプレゼンテーションを行うなどのアクティビティを実施する。

2. 授業の到達目標

1. イギリス児童文学についての知識を修得する。
2. 文学を批評的観点から読むことによって思考力を養う。
3. 英語の速読力を身につける。
4. 英語のリスニング力を増強する。
5. 英語の発信力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

授業内発表 と授業内提出物60%、中間テスト20%、期末テスト20%

4. 教科書・参考文献

参考文献

ルイス・キャロル ふしぎの国のアリス 講談社英語文庫
ルイス・キャロル 鏡の国のアリス 講談社英語文庫
ルイス・キャロル 不思議の国のアリス 角川文庫
ルイス・キャロル 鏡の国のアリス 角川文庫
C.S.ルイス ライオンと魔女―ナルニア国物語 講談社英語文庫
C.S.ルイス ライオンと魔女―ナルニア国物語 1 岩波少年文庫
C.S.ルイス カスピアン王子の角笛―ナルニア国物語 2 岩波少年文庫
C.S.ルイス あさびらき丸東の海―ナルニア国物語 3 岩波少年文庫
P. L.トラヴァース 風についてきたメアリー・ポピンズ 岩波少年文庫
P. L.トラヴァース 帰ってきたメアリー・ポピンズ 岩波少年文庫
J. K.ローリング ハリー・ポッターと賢者の石 静山社ベガサス文庫

5. 準備学修の内容

授業で扱う作品の抜粋を配布する。配布プリントの英語を読み、知らない単語を辞書で調べてくる。また、作品全体を把握するため、また、背景となる知識を習得するために、上であげた参考書を読んでおくことが望ましい。

6. その他履修上の注意事項

積極的に授業に参加し、積極的に英語を話そうとすることが重要である。15週間積極的に授業に参加すれば、確実に英語力が伸びていることを実感するであろう。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------------|
| 【第1回】 | 授業説明 |
| 【第2回】 | 『不思議の国のアリス』(1)ウサギを追いかけて |
| 【第3回】 | 『不思議の国のアリス』(2)公爵夫人の家で |
| 【第4回】 | 『不思議の国のアリス』(3)チェシャ猫 |
| 【第5回】 | 『不思議の国のアリス』(4)お茶会 |
| 【第6回】 | 『不思議の国のアリス』(5)トランプの兵士たち |
| 【第7回】 | まとめと中間テスト |
| 【第8回】 | 『ナルニア国物語』(1)ライオンと魔女 |
| 【第9回】 | 『ナルニア国物語』(2)カスピアン王子の角笛 |
| 【第10回】 | 『ナルニア国物語』(3)あさびらき丸東の海へ |
| 【第11回】 | 『メアリー・ポピンズ』 |
| 【第12回】 | 『メアリー・ポピンズ リターンズ』 |
| 【第13回】 | 『ハリー・ポッターと賢者の石』 |
| 【第14回】 | イギリスの児童文学 |
| 【第15回】 | まとめと復習 |